

地域再生計画（道整備交付金）中間評価調査

都道府県名	三重県	事業実施主体	三重県、紀宝町	地域再生計画名	紀宝町 「道路ネットワークの整備による安心・安全な住み良いまちづくり計画」
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	紀宝町産業基盤担当理事兼産業建設課長 向井 美樹也		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	道路ネットワークの整備による住宅・店舗等の建築物の増加（住宅・店舗等の建築物数）	0件	H26	110件	H29	162件	220件	H31	－	○	道路ネットワークの整備により、住宅・店舗等の建築物が増加し、中間目標値を達成できた。
	指標 2	林業の振興と森林整備の促進（間伐森林面積）	0ha	H26	16.60ha	H29	28.39ha	33.19ha	H31	－	○	林地整備により、間伐が計画的に実施され、中間目標値を達成できた。
	指標 3	地域内の入込観光客の増（入込観光客数）	250千人	H26	275千人	H29	245千人	300千人	H31	－	×	平成29年台風第21号等の影響により、地域内の入込客数が減少したため、中間目標値を下回った。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（H29）	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業		13.0km	3.4km	－	今回、幹線道路の整備や生活道路の改修等を実施したことにより、生活環境の改善が図られ、地域内への住宅・店舗等の建築物が増加し、中間目標値を上回った。しかしながら、計画路線の一部において未完成の路線があることから、引き続き、他事業も活用しながら事業を進める必要がある。						
	林地整備事業		1.6km	1.3km	－	平成29年台風第21号の影響により、整備区間の一部が被災したため、当初予定していた計画期間を1年延伸させた。間伐が計画的に実施され、中間目標値を上回った。引き続き、平成30年度の完成に向け事業を進める必要がある。						
その他の事業	防災・安全交付金事業		橋梁の修繕耐震補強 幹線道路の整備 橋梁点検健全度評価	6橋 1路線 全橋梁	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁修繕・耐震補強及び道路施設の老朽化対策等を実施することで、道路施設の予防的修繕と計画的な更新による安全・安心な道路ネットワークが構築され、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も引き続き事業を進めていきたい。							
	社会資本整備総合交付金事業		幹線道路の整備	1路線	主要幹線道路を整備することで、道路ネットワークと安全な道路空間の構築による安心・快適で活力あるまちづくりが構築され、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も引き続き事業を進めていきたい。							
	県営中山間地域総合整備事業		農道整備 集落道整備 農業用排水施設の整備	6路線 2路線 1地区	農道及び集落道等の整備により、農業生産の増大と生活水準の向上が図られたとともに、町道・林地・農道の道路ネットワークの整備による安心・安全な住み良いまちづくりが構築されたため、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も積極的に事業を推進していきたい。							
	辺地対策事業		農道整備 営農雑用水施設の整備	1路線 1地区	交通条件や自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれていない山間地等の辺地地域において、総合整備計画に基づき公共的施設等の整備を行うことで、地域住民の利便性が向上され、安心・安全な住み良いまちづくりが構築され、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も引き続き事業を進めていきたい。							
	若者定住促進事業		町有地分譲事業	3地区	移住・定住促進のための町有地分譲を実施することで、若者定住による地域の活性化を図ることができ、事業は効果的に実施されたと考えていることから、今後も積極的に事業を推進していきたい。							
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	各地区の地元住民代表者が集まる会議を開催し、中間目標値の達成状況に関する評価・検討等を行った。											
⑤中間評価の公表方法	紀宝町産業建設課のホームページに掲載											
⑥計画全体の中間評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と林地整備の一体的な整備により、森林の適正管理の推進と災害時の迂回路の確保、及び生活道路のネットワークの強化を図り、安全・安心な住み良いまちづくりを進めるとともに、防災・安全交付金、社会資本整備総合交付金、中山間総合整備事業等を活用しながら、町道、農道、林地、排水路、橋梁等、道路ネットワークの一体的な整備を行い、また道路施設の老朽化対策も実施し、住民の安心・安全な生活道路の整備と産業の活性化が図られたことから、地域再生計画の目標である「道路ネットワークの整備による安心・安全な住み良いまちづくり」が概ね達成できたと思われまます。しかしながら、現時点において未完成であります町道整備については、他事業も活用しながら、鋭意進めていきたいと考えております。											
⑦今後の方針等	残りの計画期間において、さらなる道路ネットワークの強化を図るために、主要幹線道路の整備に合わせ、生活に密着した町道と林地の整備を一体的に行い、生活道路網の利便性を図り、安全・安心な住み良いまちづくりを進めていきたいと考えております。また、地域内の入込観光客数が減少していることから、平成30年4月にオープンした飛雪の滝キャンプ場のコテージ8棟及び直売・集客交流拠点施設を観光の拠点とし、今後様々なイベントを計画し、入込客数の増加に向けて取り組んでいきたいと考えております。											